

平成 1 2 年度試験研究成果

区分	指導	題名	トルコギキョウの春出し作型における播種期		
〔要約〕 トルコギキョウの春出し作型において、早生種「ネイルマリンネオ」及び「ネイルピーチネオ」では、9月上旬播種（11月中旬定植）で、5月末から2L出荷規格を満たす品質のよい切り花が得られる。					
キーワード	トルコギキョウ	春出し作型	播種期	園芸畑作部 花き研究室 南部園芸研究室	

1 背景とねらい

本県のトルコギキョウ生産は夏秋出し作型が中心であるが、産地として確立するためには長期継続出荷が不可欠で、春出し作型の確立が必要である。しかし、春出し作型は生育期間の大部分が冬期となるため、早期に開花させるためには加温が必要となるなどコスト上の問題も多い。

そこで、春出し作型のためのより低コストな品質向上方策として、播種期と開花期及び品質の関係について検討した。

2 技術の内容

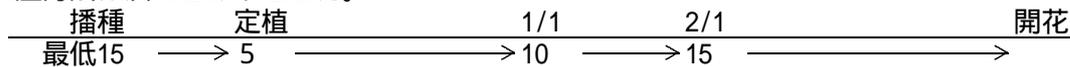
(1) 10月中旬～11月中旬に定植し、定植から12月末までの最低温度を5℃とした場合、早生種「ネイルマリンネオ」「ネイルピーチネオ」では8月上旬から9月中旬までの播種では、播種期を早くするほど切り花のボリュームは増加するが、開花期が遅れる傾向にあった。

(2) 上記の条件下では9月上旬播種（11月中旬定植）で、5月末から2L出荷規格を満たす高品質な切り花が得られる。

3 指導上の留意事項

(1) 低温期の定植となるので、地温の確保に努め活着を促す。

(2) 加温方法は次のとおりとした。



（日長：1/1より電照により明期延長4:00～20:00）

(3) この場合の暖房にかかる燃料費は、トルコギキョウ1本当たり約30円（平成11年度実績）である。

(4) 暖房コストのかかる作型なので、経営の中での位置づけを考慮した上で導入する。

4 技術の適応地帯

県南及び沿岸南部

5 当該事項に係る試験研究課題

〔花き2〕 - 2 - (1) - ア - (ア) - b トルコギキョウの春出し作型の確立

6 参考文献・資料

(1) 東北地域重要新技術 研究成果 No.28 「寒冷地施設利用花き生産のスリーシーズン化に向けた高品質安定生産技術の確立」 平成12年9月 東北農業試験研究推進会議

(2) 農業技術体系 花き編 農山漁村文化協会

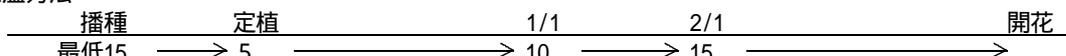
7. 試験成績の概要 (具体的なデータ)

表1 播種日 (定植日) の違いによる切り花品質

平成11年度: 花き研究室 (北上市)

品 種 名	播種日 (月日)	定植日 (月日)	加温 方法 ¹⁾	採花時期 (月日)			切花長 (cm)	切花重 (g)	茎径 (mm)	節数 (節)	一次 分枝数 (本)	有効花 + 蕾数 ⁵⁾ (個)
				始期 ²⁾	盛期 ³⁾	終期 ⁴⁾						
ネルマリン材	8.10	10.18		6.6	6.21	6.25	94.0	187.5	6.3	17.1	8.6	41.9
	8.20	10.22		6.8	6.15	6.21	95.3	155.8	6.4	17.1	8.3	35.6
	9.1	11.16		6.1	6.12	6.14	89.4	131.1	6.9	13.6	7.3	30.5
	9.10	11.19		5.30	6.5	6.8	88.1	95.7	6.9	12.8	6.2	24.3
ネルマリン材	8.10	10.18		5.22	6.8	6.11	89.8	135.5	5.7	15.8	9.7	40.2
	8.20	10.22		5.30	6.3	6.8	94.4	154.4	5.9	16.1	11.6	43.5
	9.1	11.16		5.30	6.2	6.6	82.1	90.7	6.1	11.9	5.9	27.5
	9.10	11.19		5.25	6.1	6.6	80.4	81.4	6.1	11.5	5.4	23.6
あずまのほほえみ (参考)	8.10	10.18		6.21	6.28	7.3	94.8	162.5	6.6	17.3	6.8	33.8
	8.20	10.22		6.21	6.23	6.28	105.8	183.2	7.1	18.0	7.2	31.2
	9.1	11.16		6.11	6.21	6.28	93.2	160.5	8.0	14.6	5.3	30.1
	9.10	11.19		6.6	6.21	6.23	83.9	91.1	6.6	14.0	3.8	17.3

1) 加温方法



(日長: 1/1より電照により明期延長4:00~20:00)

2) 採花始期: 全株の10%採花時期 3) 採花盛期: 全株の50%採花時期

4) 採花終期: 全株の90%採花時期

5) 有効花+蕾数: 老化してない花+長さ15mm以上の蕾数

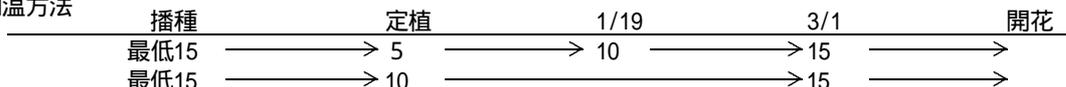
注1) 栽植様式: 床幅+通路180cm、株間12cm、条間12-24cm 6条植え 黒マルチ使用

2) 施肥量 (kg/a): 窒素 1.2 リン酸 1.2 カリ 1.2

表2 加温方法の違いによる切り花品質 (平成10年度)

品 種 名	播種日 (月日)	定植日 (月日)	加温 方法 ⁶⁾	採花時期 (月日)			切花長 (cm)	切花重 (g)	茎径 (mm)	節数 (節)	一次 分枝数 (本)	有効花 + 蕾数 ⁵⁾ (個)
				始期 ²⁾	盛期 ³⁾	終期 ⁴⁾						
ネルマリン材	9.18	12.16		5.31	6.8	6.17	81.0	74.9	5.8	11.5	5.4	21.8
(花き研)	9.18	12.16		6.3	6.17	6.20	79.3	75.8	5.8	13.9	6.1	21.6

6) 加温方法



(・とも10 加温時より電照: 暗期中断22:00~2:00)

表3 暖房コスト (燃料のみ) 平成11年度: 南部園芸研究室 (陸前高田市)

	12月	1月	2月	3月	4月	計
給油量 (ℓ)	346	417	1,005	893	498	3,159
燃料費 (円)	14,878	17,931	43,215	38,399	21,414	135,837
(1本当たり)	3.3	4.0	9.6	8.5	4.8	30.2

注) ハウス面積: 約180m² 加温方法: 燃料費: 43円/ℓ

販売本数: 約4,500本 (定植本数の9割) で計算した

ハウス被覆は、外張り+内張カーテンの二重被覆とした

(参考) 表4 市場平均単価

年次	4月			5月			6月			7月			8月							
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下					
1998(東京市場平均)			169			152			104			94			91					
1999(大田花き実績)	194	167	162	173	203	152	126	157	102	105	104	104	92	109	88	96	93	114	92	98
2000(大田花き実績)	209	198	173	183	164	127	122	133	116	91	100	102	120	96	83	96	85	99	75	85

上: 上旬 中: 中旬 下: 下旬 全: 1ヶ月

単位: 円/本